

全演事務局 京浜協同劇団 〒212-0052 川崎市幸区古市場二丁目109 TEL 044-511-4951 FAX 044-533-6694
フェスティバル事務局 銀河ホール 〒029-5511 岩手県西和賀町上野々39-195-2 TEL 0197-82-3240 FAX 0197-82-2883

いらっしゃい! 関西から きづがわ など 到着

9時30分 出演団体の 劇団きづがわの団員
・スタッフを始め、関西からの参加者がバスで到着
しました。14時間の長い旅だったそうです。団員の
方は、「バスが窮々でよく寝られなかったが、車内は
和気藹々で楽しかったと話しておりました。



交流会の場所が変更!

「何も今日ふらなくたって…」スタッフが恨めしそうに外を見ます。
湖上ステージで開かれるはずだった交流会は川尻体育館です。

場所:ホールからJRの駅に向かい、駅前を左に曲がって国道(平和街道)の
T字路信号のところにてます。そこを右に走ってすぐ、
右に西和賀町の町役場があるところの信号を左に入ると、すぐ左側。

ゴローちゃんまたあらわる!



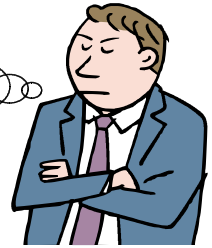
しろたにまもる腹話術教室

10時からUホールにおいて腹話術教室が行われました。
60人の観客は大満足。速報班からも2名の『スパイ』を送り込み
参加の皆さんからの声と技術を『盗んで』きました。

人形を触ったら少し動かただけで指の当たるところが痛くて大変なのがわかった。
体操をやったとき右と左の動きを別々にするのが難しかった。
話術がすばらしかった。
腹話術の声のトーンや口の形がわかりやすかったので自分でもやってみたくなった。
人形の目線と自分の目線をどこに持って行くのが大事なのがわかった。
人形を動かすすぎない。ここぞというところで大きくはっきりと動かす。

北上腹話術サークルの方は「何回かお会いして1年前から来ようと決めていました。自分たちのサークルは月一回練習しているなところにボランティアに行っていますが、しるたに先生の話しには東北の人にはないおもしろさがある。それを盗みに来ました。」・・・ううむ、どうも しるたに先生はいろいろな人から『ねらわれて』いるらしい。教室後も居残りで個人授業もありました。

交流会の変更は決まったが、もいあがればすべてよし



中野さんはもう、フェスティバル後の仕事のことを考えています。

東京芸術座 「12人の怒れる男たち」



会場から出てきた方々は、よかったとつぶやいた。これまでいろいろなところの「12人の・・・」を見たが一番良かったらしい。記者は走り回った。

良かった。男性だけの芝居は余り見たこと無いんですが映画はありますが。この芝居はずっと見たかったのでまさかここで見られるとは。東京で見ようと思ったことはあった。バックに移民の問題や人種問題などアメリカの脚本だろうけど全員が日本人なので、アメリカだともっと深いものになるのでは。人種が違う人が演じると難しいのでは。

実際の裁判を娘と何度か傍聴しているので興味深かった。(横浜・女性)

他人事で見るところがあるが自分の事と思うと。とても重いテーマなんだがテレビよりも生の舞台の方がわかりやすかった。この時代に合っている。場面展開もないので、違った場面もあれば良かった。(若い人)

何度か同じ芝居を見ているので、期待してみていたがセリフが聞き取りにくいところがあった「殺してやる」というセリフなど後で生きてくる。終わったときの場面(ビルの明かり)が印象深かった。(女性)

舞台パネル展はごらんになりましたか？

内山 勉さんのすばらしい舞台パネル。演目と空間の関連。目を見張ります。必見です。

各劇団のパネル展示。黒沢尻歌舞伎保存会の見事な舞台衣装とかつら。ほんものですねえ。

